

日本語教室部会の「世界を知ろうサポートプラン」が「わんぱくまつり」に参加しました

立岡成子（日本語教室部会）

11月15日（土）津田沼小学校の「わんぱくまつり」に参加しました。7か国の学習者さん（フィリピン、ネパール、韓国、インドネシア、中国、ブラジル、ベトナム）とボランティアの皆さんが集まり、各ブースで小学生たちと交流しました。学習者さんたちは、これまで学んだ日本語で自国の文化を紹介し、子どもたちは、覚えたての言葉で面白そうに挨拶をしたりしていました。

ベトナムや韓国のめずらしい帽子をかぶってみたり、中国のブースで書写（篆書体）を体験したり、おもちゃのコーナーでロシアのマトリョーシカに夢中になったり。皆、目を輝かせていたのが印象的でした。又、異なる国の学習者さん同士が交流する場面も見られて良かったです。

入場者が増えてきた頃、ネパールのアンザンくんが国歌を歌ってくれ、民族衣装をまとった男性3人衆も唱和して大いに盛り上がりました。

カラフルな国旗や各国の衣装、美しい写真や装飾品に囲まれて、皆が笑顔で一つになり、この日は小学校の一教室に多文化共生の小さな花が一つ咲いたように感じられました。参加されたすべての皆さん、沢山の思い出を有難うございました。



日本語学習者、ボランティアのみなさん



小学生や保護者の方々などたくさんの人が来訪



各国の珍しい楽器やおもちゃも展示されました



